



もう焼けたかな？
中央左は 韓国から
飛び入り参加の崔先生

向島有季園

楽しく収穫祭 今年で8回目

この記事の標題は
一言会副会長 齋藤さん



こんな大きなヘチマも

そこへ、韓国から東京大学へ客員教授として来日中の、都市計画の権威、崔孝昇(チエ ヒョスン)さんが飛び入り、図らずも日韓交流の場となりました。有季園も来年は十年目を迎えます。炎天・冷夏・害虫などの苦勞を越えて、野菜作りの楽しさを延べ一四〇人の方が味わい、万一、一言地区に大災害があつても、この方たちの力で下町手作り農場が運営されるはず。有季園では、畑作りのリーダー「植栽の鉄人」が育っているのです。

有季園の名前は海外まで？

園の前には、収穫物のトマトやウリ、トウガラシなどのスナップ写真と、利用者のKさん自慢のプランター栽培による稲(ゆづきコシヒカリ)が飾られ、「収穫祭」のムードたつぷりでした。

お祭りには、利用者さんと一言会の役員さんなど約二十名が参加、則武会長の「お祝いの言葉」に続き、ビールで歓ぱーイ。同園でとれた野菜と、利用者の皆さんが持ち寄った牛肉、ワイン、泡盛、焼きそばなどで、バーベキュー大会となり、この一年間の「畑作りの苦心談」に花が咲きました。

手作り野菜はおいしい

一言会じまんの施設「有季園」にも、たわわな実りの季節が訪れました。十一月十六日、午前一時から、防災小緑地「向島有季園」(向島五)では、利用者さんの懇親をかねて八回目の「収穫祭」が開かれました。

有季園利用者募集

あなたも、向島有季園(向島5-35)で、楽しい野菜づくり・花づくりを体験してみませんか。



応募券

ご希望の方は、官製はがきに右下の「応募券」を貼り、住所・氏名・電話番号をご記入の上、左記へお申し込みください。応募者多数の場合は、二月に「公開抽選会」を行います。

【利用期間】

平成十年三月一日
～平成十二年一月三十一日

【応募条件】

一 寺言問地区(堤通一丁目、東向島一・三丁目、向島五丁目)にお住まいの方

【申し込み先】

〒1131 墨田区東向島一-11-13
一言会々長 則武勝商

【締め切り】

平成十年一月三十一日(必着)

※なお、利用に際して、次の事項を守ってください
いますようお願いします。

- ☆二年間、本人が責任を持って利用する
- ☆年二回の利用者会議に出席する
- ☆六月に実施の園周辺生け垣剪定会に参加する
- ☆園の近隣居住の方に迷惑をかけない

お問い合わせは 有季園の担当理事 阿部

☎362210542

鳩の街商店街に

防災型街路灯が完成!

鳩の街通りでは、街路灯の取り替え工事が終わり、十二月六日、完成記念のモチツキ大会が行われました。

この街路灯は大変ユニークで、夜になると街灯の他に「広域避難場所白鬚防災地区」と表示された誘導パネルが光り、電源が切れたときには非常灯がともります。鳩の街通りはいつも明るい避難道になりました。

鳩の街通りの中程にあるポケットパーク「はとほつと」には、災害時に有効利用できる「路地尊」が設置され、今でも一寺言問を訪れる見学者が鳩の街を歩きますが、また一つ災害に備えた安全なまちづくりの

名物となるでしょう。

飾りのついた街路灯も良いけれど防災に役立つ、災害時にも灯りを絶やさない工夫をした、鳩の街商米会の皆さんの心意気が感じられます。なお、商店街に屋外型の非常灯がついたのは初めてで、墨田区と東京都から補助金がつきました。



明かりの下には
かわいい鳩がいます



安心とするおのり下町川の手をめぐりて

防災まちづくり瓦版

発行/一寺言問を防災のまちにする会

平成9年12月15日

いちてらことい
一寺言問/防災まちづくり瓦版

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行/一寺言問を防災のまちにする会
代表 則武勝商
連絡先/墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261



・浦島太郎や亀、死神等が出現!!

10月19日、一言会の地域で墨少連主催のロールプレイングゲーム「浦島太郎の手紙」が開催され、800人以上の子供達が参加し楽しいひとときをすごしました。



・秋晴れの防災訓練

10月26日、さくら公園で堤通一丁目町会の防災訓練が行われ、起震車で地震体験やバケツリレー、ジャッキなどの防災備品の使い方を練習しました。

・60年に一度の牛嶋神社大祭

「うし」の名を持つ牛嶋様の大祭が丑歳に当たるのは、60年に一度です。9月12日には、黒牛に曳かれた「鳳輦(ほうれん)」が氏子50ヶ町を巡幸し、言問小学校の全児童も見ることができました。14日には、その50ヶ町の御神輿が賑やかに「宮入り」をしました。



約九百メートルの

細街路が広まりました

一言会の地域の特色の一つに「細い路地」があります。しかし、防災の面からすると危険性の高いまちと言つてもできます。昭和六二年度から始まった、「細街路拡幅整備事業」は、区内全域で八二一件、約十キロメートルでした。

しかし、一言会の地域では、七三件の住民の皆さんの協力で、延長八九メートルの細街路が拡幅され、全区の一割近くの成果を担うことができました。

燃えない建物が 二百件余り 増えました

十年前の一言会の地域では、燃えない建物(耐火建築)と燃えにくい建物(簡易耐火)を合わせた不燃化率は二三%でした。しかし、現在では一割近くの建物が耐火建築となり不燃化率は三十%に向上しました。また、地区内のすべての建物の面積を

安全な、 住みよいまちを目指して 一言会 十年間の成果!!

合わせてみると、全体の半分以上が耐火建築と簡易耐火建築になり、燃えにくい安全なまちに一步近づきました。

区の助成が豊かに

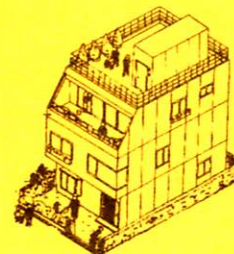
使いやすくなりました

住まいの建て替えには、間取りの悩みとともに、資金繰りや法律などの専門的な知識が必要です。

また、特に私たちのまちでは、変形の敷地やその広さなどから、とかく、既製品の建物が建ちにくいこともあります。近年、区の助成金(不燃化・三世代・緑化・細街路拡幅など)を活用して家を建て替えた東向島一丁目の小宮さんにお話を聞きました。

お仕事が消防士のご主人は「区の助成の設計基準を満たすことで、住宅金融公庫の設計基準もクリアし、助成金と一緒に金利の安い公庫の融資も受けることができました。仕事柄、自分の住まいも災害に安全なまちづくりに役立つことができうれしく思っています」
奥さんは『まちづくり公社』に相談したことが良かったと強調します「間取りや建て方だけでなく、予算のため方や税金などの相談にもものつていただき、自信を持って工事の方にも話をするようになりました」

建て替えるの悩みQ&A



燃えにくい建物にしたい。
おじいちゃん達と一緒に住みたい。
でも、建て替え中に住む家がない。
A Q Q Q
こんな方には「不燃化助成事業」で様々な助成金が受けられます。設計の内容も住宅金融公庫の設計基準程度です。(大通りや学校周辺では割り増しの制度がありますが、平成十年三月で終了になる地域がたくさんあります。)

Q 生け垣を育てたり、ガーデニングを楽してみたい。
A 「緑化助成事業」で生け垣や花壇づくり、「雨水貯留施設助成事業」で雨水をためる設備などの助成もあります。
A Q 道を広げると、損ばかりしちゃうヨ。
A 「細街路拡幅整備事業」で、建替えの時に必要となる道路工事の助成や、道によつては区が買い取ってくれます。近年の法改正で、道路境界線から約五センチさがると三階建ても楽に建てることのできるようになりました。

A Q 誰に相談したらいいの?
A 曳舟文化センターに「墨田区まちづくり公社」があり、いろいろな建て替え相談にもつてもらえます。もちろん無料です。

私がまちがどスタッフです

その39

一言会副会長

土屋市太郎さん



向島五丁目東町会の町会長になられた土屋さんは、町会長の補佐、兼代理役である副会長を15年間務め、平成9年5月町会長に就任された。

昭和2年港区生まれ。5才の時押上へ越してくる。業平小学校、関東第一高校を卒業、学徒動員されるが無事終戦。町は焦土と化していた。一刻者の親父さんがやっていた寿司という料理店も焼失してしまった。

昭和21年新天地と決めた向島で、うなぎの寿家を開店すると、食通が大勢通って来た。仕出し、会席弁当を始めると法事やお茶会にと注文が殺到した。時勢に順応して商売することも大事と心得る。

有季園の収穫祭に参加した土屋さん、やせてみえるが身の丈六尺の大男で、往年の名優田宮二郎さんにどこが似ている。趣味はスキーで指導員の資格をもち、スキー学校の校長先生をされている。

雲恋し、冬の到来を待って、ゲレンデではさぞかし華麗な滑りをされるのだろう。

一言会活動報告

- 5月15日 瓦版41号 発行
- 5月16日 江戸川区職員 視察
- 6月18日 新潟北部開発協議会 & 新潟市職員 視察
- 9月28日 埼玉県富士見市職員 & まちづくり有志 視察
- 10月20日 群馬県職員 視察
- 22日 青森県平内町職員 視察

◎その他、瓦版の編集、有季園の運営等について話し合いを進めてきました。